ヘルニアなのに痛い人、痛くない人

非器質性疼痛

ストレスやうつ、不安などが原因で痛みとして脳が感じる痛み。

たとえば、一生懸命がんばって働いていると体に疲労がたまり痛みを感じます。

この時に痛みをブロックするシステム（下降性疼痛抑制系）が働きます。

このシステムが正常に働いていれば、少しくらい痛いなと思っていても働くことができます。

ですが、ストレスやうつ、不安の状態がずっと続いているとこのシステムが働かなくなることがあります。

このシステムが働いていない人は、強い痛みがでてしまいます。

また、レントゲンを撮ってヘルニアがあっても症状がない人、手術をしなければならない程ひどく痛む人の違いとして、心理・社会的因子が理由となっているというデータもあります。

以下、著書：あなたの腰痛が治りにくい本当の理由より　腰痛の社会的背景　一部を抜粋。

「文化」

腰痛に対する考え方、とらえ方の違い。腰痛の表現の違い。腰痛を我慢する文化、しない文化。

「家族と社会的支援」

支援がある方が治療効果が高い。

「心理的側面」

・慢性痛による機能障害は、心理・社会的因子が深く関与している。

・心理社会的因子の方が、器質的な因子よりも腰痛による機能障害がでやすい。

・うつ、不安、落胆などの情緒的因子は腰痛や腰痛関連機能障害と関連する。

「雇用管理と労働関係」

良好な雇用管理と労働関係は、腰痛の頻度と休業を減少させる。

元気でやっているか、君はこの会社にとって重要だ、君が今やっている仕事はとても重要なんだ、などという言葉かけが有効。

「失業」

失業後の保証の程度に依存している可能性が大きい。

失業の保証がないと腰痛があっても休めない、治療できない。

などがあり、心理的な影響が痛みにつながることがわかります。

休日

水曜日、土曜日の午後。

整体料金

初回：3500円

2回目以降：2500円

ホームページ　うるまカイロ　検索

http://hushigiseitai.com

ﾌﾞﾛｸﾞ:hushigiseitai.ti-da.net/

メールでの問い合わせ：matsukou@urumachiro.com

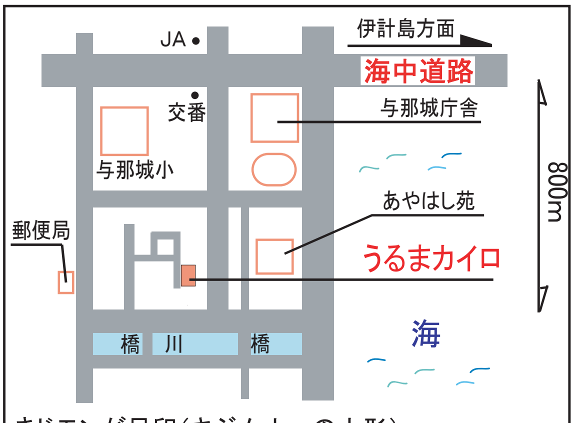
電話：080－1545－5637

営業時間

10:00〜14:00

15:30〜19:30

「気持ちが大事」 不思議整体 Sixthsensetherapy うるまカイロ



きじモンが目印（キジムナーの人形）

与那城庁舎または海中道路入り口から車で2〜3分